

# 自立生活ハンドブック4 からだ!! げんき!?

●500円(送料込み)

さいしんかん  
最新刊

明石洋子著

「からだ!! げんき!?」はどんな本?  
あなたは自分のからだのことをどれくらい知っていますか? やせた、太った、病気になつたと、からだや健康のことはだれもが関心を持っています。しかし、知つているようで知らないことは意外にたくさんあるのです。

大切ですが、本人が自分のからだを大切にしようという気持ちを持たないことは、どんな努力や心配も空回りで終わりかねません。とくに、ある程度の年齢になると、高血圧、動脈硬化、がんなど、成人病への不安が大きくなります。そのとき、本人に自覚があるかどうかが、健康への重要なカギとなります。

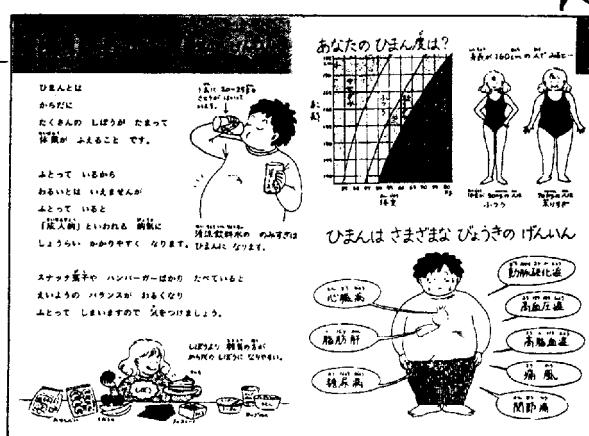
本屋で探しても、書棚に並ぶ健康本のほとんどは専門的すぎて、文字が多くて、子どもに読ませるどころか自分が読む氣にもならない」……そうですね、わかりやすく気軽にお読み、しかも内容の濃い専門書はなかなかありません。

この本は、そうした声を受けて、わかりやすく、楽しく読めるよう、大きめの文字とたくさんのイラストで構成されました。親や援助者がイラストを見ながら説明をし



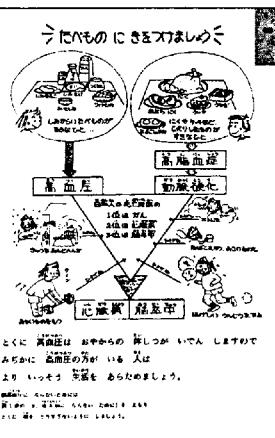
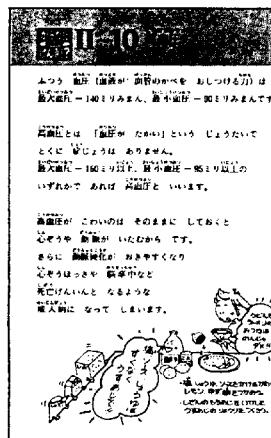
いつまでも元気でいるために ひまわり音きゅーん

※微々として、如何にもニティをもつやうの人々が、自立できることで折り、自分の体を大切にするよう、心を



# おとなのくらし

「手もつはぐ」1996年7月号より



てあげてもいいですし、多少健康に関する知識のある人でも興味深く読めるはずです。知的に障害のある人にも楽しく読める、わかりやすく元気になる健康の本。完成了それは、知的障害のある人のみならず老人、成人、子どもと、すべて人が楽しく読める、元気になる本となりました。

## いつたい何が書いてあるの？

この本には からだを だれにでも からだを たいせつに する 方法が

てあげてもいいですし、多少健康に関する知識のある人でも興味深く読めるはずで

かいてあります。

この本を よむと きつと

じぶんの からだの ことは ひとまかせに しないぞ

というきもちにも なるでしょう。  
(「はじめに」より)

この本は、①からだの健康についての話と、②いろいろな病気についての話の二つの章で構成されています。具体的にあげると、第一章の「からだ！」には、次のように書いてあります。

- ・いのちの誕生、からだや細胞のしくみ
- ・たべもの、ひまん、ダイエット
- ・成人病にならないために
- ・上手なお酒の飲みかたと病気
- ・たばこは良い？ 悪い？
- ・ストレス

たとえば、「からだのしくみ」のページには、それぞれの器官がどのような働きをしているかについての説明、「たべもの」のページでは、人間に栄養が必要な理由と、栄養素の含まれている食べ物がイラストで示されています。

第二章の「げんき！」では、

- ・げり、べんび、胃、肝臓の病気
- ・胆石、糖尿病、ぢ、貧血、高血圧
- ・高脂血症、動脈硬化、脳卒中
- ・心臓病、つうふう、がん

・骨そしょう症  
・シンナー・麻薬のおそろしさ

などについて書かれています。例えば「高血圧」のページでは、高血圧についての説明が右ページに、食の好みによってなりやすい病気と注意事項の図解が左ページに記載されています。

## 「からだ!! げんき!!」で元気なからだに

この本を手にした方々から、すでにたくさんの声が届いています。「文字を読まなきやという気負いがなくとも読めるところがいい」「好きなところからめくつて見られる」……また、年配の夫婦からは、「文字が大きいので助かる」「夫婦間の話題がひとつ増えた」などなど。

この本を読んで、からだのことを知れば知るほど、「自分のからだってえらいなあ。すごいなあ。がんばりやだなあ」と思つてしまします。それが健康への第一歩！ 自分のからだを知れば、自然に、からだをいたわろうという気持ちになります。

きっと、健康と元気へのきっかけを見つけられるはずです。ひとりで、ふたりで、みんなで、この本を読むことをおすすめします。自分のからだと元気のために。大切な人のからだと元気のために。

(本書のお申し込みは、全日本手をつなぐ育成会 03(3431)0668まで。)